



【日時】
2019年9月27日(金)
18:00~20:00 講演
20:00~20:30 質疑
20:30~21:00 会場にて懇親会

【場所】
学士会館(320号室)
千代田区神田錦町3-28
TEL:03-3292-5936

【参加費】
会員 :1,000円
学生会員:無料
非会員 :1,500円
学生非会員:500円

中国映画の隠された構造

～微妙な違いから見えてくるもの～

日本日中関係学会(会長 宮本雄二元駐中国大使)は2019年9月27日(金)に神田学士会館において本部研究会を開催いたします。

米中対立がますます混迷の度合いを深め、先の見えない状況が続いていますが、今回の研究会は政治、経済面からの分析から少し離れ、「映画」を通じて現代中国を検証していきます。

中国映画は今では興行収入で世界第2位の地位を得て、その規模、技術においても、ハリウッドを目指す勢いで発展しています。但しその位置付け、意味合いは時の政治、経済の状況により微妙に変化してきました。

もともと共産党プロパガンダの重要な手段として考えられてきましたが、改革開放以降、興行的に“当たる”“もうかる”映画へと変貌していきます。しかし未だに政治的表現の制約が多い中国の状況下で、映画は隠されたメッセージを含んでいるのも事実です。

今回は学生時代から中国映画に興味を持たれ、今日その道の第一人者である刈間文俊さんに、貴重な映像を見ながら、映画から見えてくる中国を論じていただきます。

普段はなかなか伺い知ることのできない映画業界の内情も含め、興味あるお話が聞けるものと思います。皆さまお誘いあわせの上、是非ご参加ください。非会員の方も歓迎いたします。



刈間文俊(かりま ふうみとし)さん

東京大学名誉教授、武蔵野大学講師、南京大学客員教授

専門は表象文化論、中国現代文学・中国映画史。中国映画を東アジアにおける文化交流として研究し、翻訳や映画の字幕を100本近く手がける。又南京大学での集中講義など中国との文化交流にも携わり2013年に中国江蘇省友誼賞を受賞。「上海キネマポートーよみがえる中国映画」、「チャイナアート」等著作、翻訳多数。

参加申し込み(早めのお申込みをお願いします。)

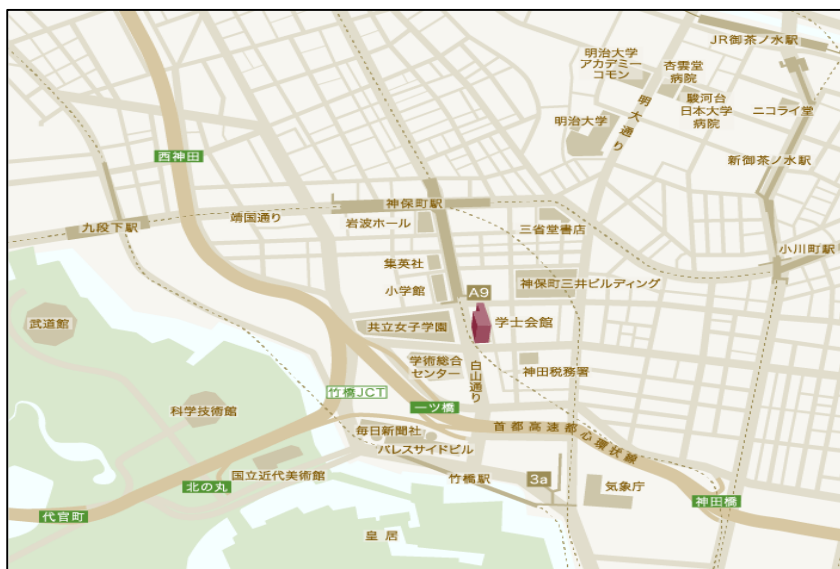
会員の方:メールに「9月27日研究会参加 氏名(一般、又は学生)」とお書きになり
nichu-kankei@g.email.ne.jp(田島)までお送りください。

非会員の方:メールに下記事項をお書きになり次の非会員用メールアドレスまでお送りください。

- ①氏名:
- ②所属先:(学生の方は大学名に加え学部、研究科名、学年も記載してください。)
- ③参加資格:非会員(学生の方は学生非会員とお書きください)
- ④連絡先:(メールアドレス、又は電話番号)
- ⑤本研究会を知ったきっかけ:(会員(名前)からの紹介、学会HPなど)
mitchellmimura@gmail.com(三村)

*FAXで申込みの場合は 03-3554-0421 までお願いします。

学士会館 アクセス



- ・都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分
- ・東京メトロ東西線「竹橋」駅
下車3a出口から徒歩5分
- ・JR中央線/総武線「御茶ノ水」駅下車御茶ノ水橋口から徒歩15分

日本日中関係学会 〒108-0073 東京都港区三田4-7-19ハタビル2F
eメール: nichu-kankei@g.email.ne.jp